児童発達支援及び放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果

別添様式2

公表日：2021年3月31日

事業所名：ピタゴラ未来塾垂水

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	療育スペースは52.3㎡と広く、また隣に個別支援が出来るスペースも兼ねた相談室があるので、十分確保できていると思う。	「はい」（出来ている）の評価7割 ・普段スタジオへ行かないので様子をホームページに掲載してほしい	備品の配置等にも配慮し、スペースを確保するよう努める。参観希望について、特に参観日は設けていないが、希望者には自由に見学をして頂いている。利用者には契約時にその旨説明しているが、今後さらに周知に努める。
	2	職員の適切な配置	日々の利用人数に対して職員数は適切に配置できている。	「はい」（出来ている）の評価7割	今後もさらなる職員の資格取得・スキルアップに勤め、手厚い配置を行っていく。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	靴を脱ぐ、カバンを片付ける、手を洗う等、スペースが区切られていてわかりやすい構造になっている。	「はい」（出来ている）の評価6割	個別支援に適したスペースを確保するため、パーテーション等の設置した。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	コロナ対策の一環として、児童の体調確認や室内の換気・消毒、空気清浄機の導入、ペーパータオルの導入などの取組をしている。	「はい」（出来ている）の評価8割	今後もコロナ感染予防対策として、毎日の児童・スタッフの検温・健康管理、換気、消毒徹底に努めていく。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	日々の終礼と月一回のミーティングで改善すべき点を話し合い、その後どうかを考えて振り返っている。		
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない。		
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	コロナ禍の中、研修機会は少ないが、日々の療育の中で必要な知識やスキルは共有し、資質向上を目指している。		
適切な支援の	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者との面談を実施し、話し合い、ニーズ・課題をよく聞きとり、計画に反映させている。	「はい」（出来ている）の評価10割 ・コロナ禍でもきちんと対策したうえで面談を設けてくれている	今後も適切なアセスメント実施や保護者面談の実施により、ニーズ、・課題の分析を行い個別支援計画の作成・更新を行っていく。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	面談や電話面談の際に、子供の様子を伝え、個別支援や集団支援をどう組み合わせていくかを保護者と相談している。	「はい」（出来ている）の評価10割	引き続き、ニーズ・課題に応じたプログラムの実施・計画の作成を行っていく

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者との面談の中で必要な項目を提案し、共有するようにしている。また計画はなるべく具体的でわかりやすい内容になるように工夫している。	「はい」（出来ている）の評価10割 ・更新の時などに子供の今の様子などを確認し、作成されていると思います。	今後も適切な支援項目・支援内容を記載した個別支援計画を作成していく。
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	児童の苦手な所、改善したいところを日々の終礼の中でも話し合い、計画書を見直しながら支援のやり方を決めている。	「はい」（出来ている）の評価10割	サービス提供記録に支援目標を記載するなど、今後とも常に全職員が児童の目標を意識して支援出来る様、周知していく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎月一回、次月の活動について話し合って季節、年中行事などを取り入れながらプログラムを立案している。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇中では一日プログラムを設定し、いつもより長い時間の療育をしている。また祝日や日曜日には平日には行えない趣向をこらした内容の支援をしている。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	イベントや食育を行うなどいつもとは違う活動も取り入れているほか、活動プログラムも常にテーマを変化させ、マンネリ化しないように工夫している。	「はい」（出来ている）の評価10割 ・書道・絵画・SSTなど多彩なプログラムを経験出来てありがたいです。 ・土曜日やイベントのある日など工夫されていると思います	今後も保護者に聞き取りを行い、どのようなニーズがあるか把握するよう努め、新たな体験の機会を提供していくプログラムを創設していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼や昼礼を実施し、担当リーダーからその日の支援内容、役割分担について説明を受け、確認できている。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日、終礼を行っている。支援の振り返りと保護者からのフィードバックの時に上がった話しを共有し、支援に結びつけていくようにしている。		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援後すぐにサービス提供を記録をしている。またその中で気になった点や今後どう支援していくかなどを必ずその日のうちに話し合い共有している。		

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月に一度計画書を見直している。保護者からのモニタリングと職員からのモニタリングを実施し、それを元に計画書を見直している。		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業所を利用している児童について、担当者と電話で話したり、訪問を受けたりして連携を図っている。		
	2	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	主に保護者を通して情報を共有している。特に必要な場合には幼稚園などに出向いて連携をし情報を共有している。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	放課後等デイサービスからの卒業者がまだいない		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて、対応・実施行っている。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施なし。	「どちらとも言えない」「いいえ」「わからない」の数が大半	具体的な予定はないが、今後様々な可能性を含めて検討していきたい。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施していない。		
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担等、契約時に十分に説明している。 支援の内容は日々の保護者へのフィードバックで説明できている。	「はい」（出来ている）の評価10割 ・契約時に説明されたと思います。	引き続き適切に実施していく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	コロナ禍でもあるので、面談が実施できた場合には計画書を示して丁寧に説明している。会えなかった場合は電話で説明したり、実際に持参して対面で説明している。	「はい」（出来ている）の評価10割 ・契約時に説明されたと思います。	引き続き適切に実施していく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント･トレーニング等の支援の実施	フィードバック時や個別支援計画更新の為の面談時に、ご家庭での支援について助言、提案等に努めている。	「いいえ」「わからない」の評価7割	引き続き適切に実施していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	気になることがあればすぐに電話するようにしている。また送りのフィードバックの時に話ししている。	「はい」（出来ている）の評価10割 ・毎回、送迎時に内容や子供の様子など詳しく教えて頂いています。	丁寧に振り返りを伝え、日頃からの保護者との共通理解に努める。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの悩みに対する相談は日ごろから実施している。その都度メールや電話で対応している。	「はい」（出来ている）の評価9割 ・気になることができた時にすぐに相談に乗って頂けるので助かっています。	今後とも、保護者からの相談の要望があるときには、定期的な面談の機会に限らず、個人面談等提案、実施していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していない。	「いいえ」「わからない」の評価9割	今後、保護者参加型のイベントなどを検討し、父母交流の機会として、ご活用いただくよう提案していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	今のところ苦情はないが、迅速かつ適切な対応をしたい。	「はい」（出来ている）の評価6割	適切に実施していくとともに、苦情窓口の周知を行う。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	適宜、終礼などで職員に指導している。	「はい」（出来ている）の評価10割	引き続き適切に実施していく。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、活動プログラムを配信し、その中でプログラムについて概要説明などしている。	「はい」（出来ている）の評価6割	ホームページの積極的な活用なども含め、今後定期的な会報等の発行も検討する。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の記載されたファイルは書庫に保管し カギをかけるなど十分に気をつけている。	「はい」（出来ている）の評価9割	引き続き適切に実施していく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時に説明をしている。	「はい」（出来ている）の評価6割 ・契約時に説明されたと思います。	現状に即した各種マニュアルを整備している。また気象警報発令時のサービスの有無・対応について、明確な指針を作成し保護者への周知を行った。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回、子供と一緒に実施している。 契約時にも説明し、実施する時はプログラムにも記載しているがあまり周知されていない様子。	「はい」（出来ている）の評価7割	今後も情勢に合わせた定期的な内容のアップデートとそれに基づく研修等の実施、保護者への周知に努め、緊急時の対応の充実を図っていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に1度、職員研修として虐待防止研修を実施している。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	今のところ誰にも身体拘束を行う必要がない。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食育等アレルギー物質に触れる機会があるごとに、保護者に内容の通知、児童のアレルギーの有無の確認を行っている		

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	必ずヒヤリハットの事象を振り返るカンファレンスを設けて、職員と話し合い、書面で残すようにしている。		
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	楽しんでもらえるようにプログラムを工夫している。	「はい」（出来ている）の評価8割 「子供の気持ちに波があるが、行けば楽しいようです。 ・ものすごく楽しみにしていて安心して通えると本人が言っています。 ・とても楽しみにしています。	引き続き、児童や保護者のニーズ・課題を聞き取り、個々に対応したきめ細やかな支援に取り組んでいきます。
	2	事業所の支援に満足しているか	多角的な視点から客観的に自事業所を見るようにし、満足してもらえるように考えている。	「はい」（出来ている）の評価10割 ・曜日別にプログラムがあり、本人も事前に確認して楽しみにしています。 ・いつも多彩なプログラムを準備されていて親子共に大変満足しております。 ・子供だけでなく親の心にも寄り添って下さり、本当に感謝しています。	引き続き、児童や保護者のニーズ・課題を聞き取り、個々に対応したきめ細やかな支援に取り組んでいきます。